

(公財)福島県文化振興財団助成事業

安積合唱協会

ASAKA Chorverein

第23回定期演奏会

23rd Regular Concert

本日はお忙しい中、第23回定期演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。

大震災から間もなく5年を迎え、多くの皆様のご支援により本日の演奏会を開催できますことはこの上ない喜びであり、ご支援を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

当協会は、1992年の結成以来、中世・ルネッサンス・バロック時代の甘く美しい教会音楽や古今東西の名曲を中心に演奏活動を続け、これまで、定期演奏会のほか、国内の合唱コンクールやアンサンブルコンテスト、さらにはドイツ、オーストリア、フランスでの海外公演など、幅広い演奏活動を展開してまいりました。

会員は、県内外に広く在住しており、そのハンディを乗り越えようと、目指す音楽への熱い思いを胸に秘め、これまでの練習に励んでまいりました。

お陰様で、昨年度は皆様の温かいご支援のもと、第22回定期演奏会を兼ねた京都バツハ合唱団とのジョイントコンサートの開催、声楽アンサンブルコンテストや宝塚国際室内合唱コンクール、全日本合唱コンクールへの出場、さらには郡山音楽フェスティバルや医療施設でのクリスマスコンサートでの演奏など、様々なステージを通じて多くの皆様との絆を深めることができました。

東日本大震災の影響下にあっても、このような演奏活動を行うことができたのは、偏に、当協会を支えてくださいます多くの方々の温かいご支援とご協力の賜であり、心より深く感謝申し上げます。

本日は、第1ステージおよび第2ステージで、パレストリーナ、シュツ、メンデルスゾーン、ラインベルガーなど、ルネッサンス・バロック音楽やロマン派音楽を代表する作曲家の様式感溢れる作品をお届けするほか、第3ステージでは、フランスの代表的作曲家・プーランクの作品から、男声合唱および女声合唱によるステージ、そして最終ステージでは高田三郎による混声合唱組曲「水のいのち」を演奏します。

いずれも洋の東西を代表する名曲であり、皆様にもお馴染みの曲もあろうかと思いますので、どうぞ最後までお楽しみください。

大震災から間もなく5年となり、ふるさとの復興が進む中、私たち自身がこれまで以上に元気に演奏活動を展開し、絆で結ばれた仲間とともに美しいハーモニーを創り上げ、一人でも多くの方々に届けていくことが、合唱王国「ふくしま」の復興の足跡になるものと信じています。

そして今日の演奏を、昨年8月に志半ばで天に召された亡き友、和田 裕さんへ心から捧げるとともに、これからもメンバー相互そして皆様との絆を大切にしながら、これまで築き上げてきた演奏スタイルを基本に、優れた音律（チューニング）と各声部の完璧な調整（ブレンド）を備えたオンリーワン合唱団を目指して、また新しい歴史をしっかりと刻んでまいりたいと思います。

最後に、本日の演奏会にあたり、ご来場いただきました皆様、さらには協賛団体、賛助会員はじめ関係者の皆様に重ねて御礼申し上げ、あいさつとさせていただきます。

安積合唱協会



第69回 福島県合唱コンクール 平成27年8月 福島県文化センターにて

第1
ステージ

ルネサンス・バロック音楽

Super flumina Babilonis バビロンの流れのほとりで (G.P. Palestrina 作曲)

Crucifixus 十字架にかけられ (A. Lotti 作曲)

Cantate Domino 歌え、主に向かって (C. Monteverdi 作曲)

Selig sind die Toten 死者たちは幸いである (H. Schütz 作曲)

指揮: 宍戸 真市

第2
ステージ

ロマン派音楽

Zum Abendsegen タベの祈り (Mendelssohn 作曲)

Auf dem See 湖上にて (Mendelssohn 作曲)

Angelus Domini 主の天使が天から降り (Rheinberger 作曲)

Abendlied タベの歌 (Rheinberger 作曲)

指揮: 宍戸 真市

第3
ステージ

プーランク作品

男声合唱 Quatre petites prières de Saint François d'Assise

アッシジの聖フランチェスコの4つの小さな祈り

1 Salut, Dame Saint ようこそ、聖母よ

2 Tout puissant, très saint 全能にしていと聖なる

女声合唱 Ave Verum Corpus ようこそ、まことの御体よ

混声合唱 Quatre Motets Pour Le Temps de Noël

クリスマスのための4つのモテット 全曲

指揮: 宍戸 真市

第4
ステージ

高田三郎作品 水のいのち

雨

水たまり

川

海

海よ

ピアノ: 橋本 絵美

指揮: 宍戸 真市

日時 / 2016年2月21日(日) 13:30開場 14:00開演

場所 / 三春交流館「まほら」まほらホール

主催 / 安積合唱協会

後援 / 三春町教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、NHK 福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、ラジオ福島、ふくしま FM、福島県合唱連盟、郡山市音楽連盟

パレストリーナ「バビロンの流れのほとりて」

Super flumina Babilonis
Ps. 137 1-2 詩編137 1-2

「バビロンの流れのほとりて」は、故郷(国)を失い、異郷・異教のバビロンの地で被征服民として暮らすことになってしまった古代イスラエルの民の嘆きの詩です。本来、神を讃えるために使われる豎琴、支配者から「弾いてみろ」と言われて弾けるものでもない。こんな状況を生み出したのも、国が敗れたため、そしてその根本には、神との約束に背いたため、というのが旧約聖書に一貫して流れている考え方です。

パレストリーナ (Giovanni Pierluigi da Palestrina 1525頃-94) はルネサンス後期にローマで活躍した作曲家です。ルネサンス期は、無伴奏の合唱が音楽の主流だった時代ですが、彼はその最後を飾る代表的な作曲家です。彼の音楽は、感情をいたずらに表に出さず、内面に深まっていくもので、この曲も大げさなところは一つなく、瞑想するような雰囲気だけがただよっています。

Super flumina Babilonis,

バビロンの流れのほとり、

illic sedimus et flevimus.

そこにわたしたちは座り、そして泣いた。

Dum recordaremur tui, Sion,

シオンよ、あなたを想いながら、

In salicibus in medio ejus

柳の木々の間に

Suspendimus organa nostra.

わたしたちの豎琴を掛けた。(=豎琴も弾かず、歌もうたわなかった)

(詩は次のように続く)

わたしたちを捕囚にした民が

歌をうたえと言うから

わたしたちを嘲る民が、楽しもうとして

「歌って聞かせよ、シオンの歌を」と言うから。

どうして歌うことができようか

主のための歌を、異教の地で。

バビロンの流れ=古代バビロニア(現在のイラク)の首都・バビロンを流れる川。メソポタミア文明が発祥したユーフラテス川のこと。

わたしたち=古代イスラエルの民。彼らの国・ユダ王国は紀元前586年にバビロニアのネブカドネザル王(ナブッコ)に征服され、民は異郷の地・バビロンで被征服民として暮らすこととなった(バビロン捕囚)。

シオン=ユダ王国の都・エルサレムにある丘の名。転じてエルサレムそのものやイスラエルの民にとっての故郷のことをいう。また、ここでは神(ヤハウェ)に向かっての呼びかけと考えることもできる。

ロッティ「十字架にかけられ」

Crucifixus

ロッティ (Antonio Lotti 1666-1740) はイタリアのヴェネチアで活躍したバロック時代の作曲家です。ヴェネチアといえばモンテヴェルディ、この偉大な大先輩のほぼ100年後にロッティは活躍し、同じポスト(聖マルコ大聖堂の楽長)に就きました。

モンテヴェルディ同様、オペラや宗教曲をはじめとした多くのジャンルに膨大な作品を残しました。バッハやヘンデルにも影響を与えたようですが、現在はほとんどの作品が忘れ去られているようです。ちなみに、声楽を学ぶ際の最初の曲集となること多い全音の「イタリア古典歌曲集」の中に彼の「美しい唇よ、お前は言ったのだ」が収められていますので、思わず知らず彼の作品を歌った人は多いのかもしれませんが。

今回演奏する「十字架にかけられ」は、ミサ曲の一部が抜粋されたものと思われます。ソプラノ・アルト・テナー・バスの4パートがさらにそれぞれ2つに分かれた八部合唱の編成で重厚な響きが展開されます。半音でぶつかる、軋むような不協和音がキリストの受難を表現し、聴く人の心を打ちます。

Crucifixus etiam pro nobis:

(イエスは)まさにわたしたちのために十字架にかけられ、

sub Pontio Pilato passus, et sepultus est.

ポンチオ・ピラトのもと、苦しみを受け、葬られた。

ポンチオ・ピラト=当時ユダヤの地を支配していたローマ帝国から派遣されてきた総督。イエスを十字架刑に処した。

モンテヴェルディ「歌え、主に向かって」

Cantate Domino

From Ps. 96, 98 旧約聖書・詩編 96番/98番より

前の「バビロンの流れのほとりて」の歌詞の内容と対照的です。バビロンの支配権がペルシアに移り、イスラエルの民は帰郷が許されました。これを神の御業による奇跡ととらえ、神を讃えたのが「歌え、主に向かって」です。音楽もまた対照的で、パレストリーナの瞑想的な雰囲気に対し、この曲は外に向かって歓喜を花開かせるようなイメージです。

この曲を作曲したモンテヴェルディ (Claudio Monteverdi 1567-1643) は、ほぼパレストリーナの一世代後、主にヴェネチアで活躍した人物ですが、器楽の積極的な使用、豊かな感情表現など、彼を境に西洋の音楽の様相はルネサンスからバロックへと一変したといえます。まさに「新しき歌」を生み出した、音楽史上の巨人といえます。

Cantate Domino canticum novum:

歌え、主に向かって、新しい歌を。

Et benedicite nomini ejus.

そしてほめたたえよ、その御名を。

Quia mirabilia fecit.

なぜなら(主は)奇跡をなされたのだから。

Cantate et exsultate et psallite.

歌え、そして喜べ、奏でよ!

Et psallite in cithara et voce psalmi.

奏でよ、歌え、弦と声で、賛歌を。

Quia mirabilia fecit.

なぜなら（主は）奇跡をなされたのだから。

新しい歌

①旧約聖書の上での意味

アケメネス朝ペルシアのキュロス2世は紀元前539年にバビロンを征服し、翌前538年に勅令を發布し、イスラエルの民（ユダヤ人）のエルサレムへの帰還を許可した。こうして約50年に近い捕囚の生活は終わり、帰還民が続々と出発し、エルサレムを目指した。この捕囚からの解放により、ユダヤ人は神に対する信仰を新たなものにし、ユダヤ教の成立に大きな影響を与えることになった。

②キリスト教での意味

イエス・キリストが現れて、アダムとイヴによる原罪からすべての人が救われることになった。神と人類との関係が新たになり（新約）、そのことを感謝し、教え広める歌が「新しい歌」。

psallite = 「楽器を弾く」「歌う」両方の意味を持つ。さらに「講える」という意味もある。

シュッツ「死者たちは幸いである」

Selig sind die Toten

Revelation, 14-13 黙示録 14章13節

作曲家のシュッツはバッハに先立つこと100年、1585年にドイツ中部で生まれ、若いころにイタリアのヴェネチアに留学して、その先進的な音楽を吸収しました。帰国後はドレスデンの宮廷楽長として活躍し、ドイツのバロック音楽の発展に大きな役割を果たしました。

「死者たちは幸いである」は、1648年に出版された「宗教的合唱曲集」に収められています。この年に至るまでドイツでは「三十年戦争」が繰り広げられていて、物心両面で悲惨な状況でした。こんな中、シュッツは虚飾をそぎ落とし、最小限の素材で深い音楽を生み出しています。

この曲は6声部の編成をとり、重厚な和声が響くところと、各声部がメロディーを受け渡していくところが交互に現れる作りになっています。なお、この歌詞は、およそ200年後、ブラームスが名作「ドイツ・レクイエム」の最終章でも使われています。

Selig sind die Toten,

幸いである、(死者たちは)

die in dem Herren sterben,

主に結ばれて 死にゆく者たちは、

von nun an.

これより後。

“Ja,” der Geist spricht:

「然り」と聖霊も(次のように) 言っている。

“Sie ruhen von ihrer Arbeit,

「死者たちは自分の労苦から離れて安らぎ、

und ihre Werke folgen ihnen nach.”

彼らの行いが彼らのあとに続く」

(新共同訳では「その行いが報われるからである」)

メンデルスゾーン「夕べの祈り」

Zum Abendsegen

メンデルスゾーンは当時忘れられていたバッハの音楽を積極的に採りあげ、「マタイ受難曲」の蘇演（復活演奏）を行ったことで知られています。そしてバッハの作品を紹介するだけでなく、自分の作曲の腕をみがくうえでも、バッハの楽譜を研究し、その成果を自作で示しています。

この「夕べの祈り」は4つの声部が次々と追いかけるように同じメロディーを歌っていきます。いわゆる対位法の技が使われていますが、これはバッハに範をとったものといえます。短いながらも厳粛な雰囲気がたよう作品で、「湖上にて」に見られる快活でのびやかな曲調とは対照的な魅力を感じます。

Herr, Herr!

主よ、主よ!

Herr, sei gnädig unserm Fleh'n

主よ、わたしたちの祈りに恵み深くあらせられください。

Und erfülle uns mit deinem Geist;

そしてあなたの霊でわたしたちを満たしてください。

Herr, sei gnädig unserm Fleh'n

主よ、わたしたちの祈りに恵み深くあらせられください。

Und schreib in unser Herz dein Gebot,

そしてわたしたちの心にあなたの法を書きこんでください。

Herr, erhör uns!

主よ、わたしたち(の願い) を聞き入れてください。

Und schreib in unser Herz dein heilig Gebot,

そしてわたしたちの心にあなたの聖なる法を書きこんでください。

Herr, erhör uns!

主よ、わたしたち(の願い) を聞き入れてください。

メンデルスゾーン「湖上にて」

Auf dem See

作詩 Johann Wolfgang von Goethe
ゲーテ (1749-1832)

作曲 Felix Mendelssohn
メンデルスゾーン (1809-1847)

ここでいう湖はスイスのチューリヒ湖のようです。この詩は1775年、ゲーテ26歳の時に書かれたものが元になっています。このとき彼は初めてスイスを訪れたのでした。

冒頭いきなり接続詞(und 英 *and*) は面食らいますが、おそらく詩のリズミ的な規則のせいで、やむを得ず、Nahrungの後に来るべきものを頭にもってきたものと推測します。最初の2行、旅先で解放的な気分を満喫し、生き返っている様子がうかがえます。都会を離れ、田舎の自然によって心が癒される、と言っています。

タイトルにもあるように今ゲーテは友人たちと湖でボート遊びをしています。オールをリズムカルに漕いで進んで行きますが、波がけっこう高いのでしょう、上下の揺れも相当のようです。詩人らしい巧みな描写です。上下の揺れで、山々がぬうっと襲い掛かってくるように視界に跳び入ってくる様子を描いています。さらに、「雲」「天」という言葉でこの場面の垂直的なスケールが一気に高まりました。

と、突然ここで場面は急降下し、詩人は自分の心の奥底(nieder)を見つめます。「目」は単数なので、物理的な意味(両目)ではなく、「視線」とか「心の目」とか比喩的な意味だということになります。

実はこの旅の前、ゲーテは婚約解消という大きな痛手を負っていました。9歳下の銀行家の娘リリー・シェーネマンとは相思相愛だったのに、両家が反対したのです。「夢」は恋人への未練のことを言っているのでしょう。しかしその未練を断ち切ります。「ここにも愛に満ちた生はある」と宣言して(Lieb und Leben は一体的に捉えたいです。動詞が単数形なので)。「ここ」とは今まさにボートを漕いで、母なる自然に身をゆだねているこの瞬間をいいます。

そこでメンデルスゾーンは最初に戻り、改めて自然を謳歌する詩人の姿を音楽にしました。こちらの“Und” はうまく嵌っていると思います。

Und frische Nahrung, neues Blut

新鮮な栄養と新しい血を

saug'ich aus freier Welt;

僕は自由な世界から吸い込んでいる。

Wie ist Natur so hold und gut,

何と自然は優しく素晴らしいのだろう。

die mich am Busen hält,

自然は僕をその胸(懐)で受けとめてくれる。

Die Welle wieget unsern Kahn

波は揺り動かす、僕らの小舟を。

im Rudertakt hinauf,

櫂のリズムで進む小舟を上の方へと揺り動かす。

und Berge, wolkig himmelan,

すると峰々が、雲のただよう天まで達する峰々が、

begegnen unserm Lauf;

僕らの行く手に現れる。

Aug', mein Aug', was sinkst du nieder?

目よ、僕の目よ、なぜ俯いているのだ?

Gold'ne Träume, kommt ihr wieder?

輝かしい夢幻よ、お前ら戻って来やがったか?

Weg, du Traum! So Gold du bist.

去れ、夢よ! 確かにお前は輝いているが。(もう惜しくない)

Hier auch Lieb'und Leben ist.

ここにも愛に満ちた生はあるのだから。

Und frische Nahrung, neues Blut ...

そして、新鮮な栄養と新しい血を僕は自由な世界から吸い込んでいる。

(以下繰り返し)

ラインベルガー「主の天使が天から降り」

Angelus Domini

Mathie 28-2, 5, 6 マタイによる福音書 28章 2, 5, 6節

マタイによる福音書の最後の章、キリストの復活の場面から歌詞がとられています。週の初めの日(日曜日)の明け方に、女弟子のマグダラのマリアともう一人のマリアがイエスの墓を見に行ったときの出来事が語られます。

「かねて言われていたとおり」とは、旧約聖書の詩編などに「メシアは苦しみを受けて栄光に入る」と繰り返したとされていることを示しています。

Angelus Domini descendit de coelo

主の天使が、天から降り、

Et dixit mulieribus

女たちにこう言った。

“Quem quaeritis surrexit,

「お前たちが捜している方は復活された、

sicut dixit.”

かねて言われていたとおり」

Alleluja!

アレルヤ(主ヲホメ讃ヘヨ)

第3ステージ

ラインベルガー「夕べの歌」

Abendlied

Luke 24-29 ルカによる福音書 24章29節

ルカによる福音書の締めくくり、キリストの復活の一場面、「エマオの奇跡」といわれる箇所から歌詞がとられています。イエスの弟子2人がエルサレム近郊の村エマオに行く道すがら、見知らぬ男と出会い、つい最近イエスが十字架にかけられたこと、墓からその遺体が消えていることを話します。目指す村に近づいたものの、もう日暮れが間近、これ以上歩き続けるのは危ないと考えた2人はもう一人の男と一緒に宿をとろうと誘います（下線部が歌われる内容です）。宿での食事のとき、男がパンを裂く姿を見て、2人は彼がイエスであると分かりました。その瞬間、イエスの姿は見えなくなりました。

この話の筋を追うと、聖書の中での「一緒に泊まりましょう」は、見知らぬ男に対する2人の善意を表したせりふにすぎないといえます。

いっぽうラインベルガーやわたしたちは、この見知らぬ男がイエス・キリストであるとはじめから知っています。そうするとこの「せりふ」の意味合いがまるで変わってきます。気の良い2人が「暗くなるから泊まりましょうや。そんなお急ぎにならずに」と言うのとまったく同じ言葉が、今度は「暗くなるからわたしたちを守ってください、離れないでください」と祈り訴えるものとなります。昨年歌ったレーガーの“Nachtlied（夜の歌）”と同じ心情ですね。夜は怖い、守ってほしい。聖書の原文にはない、ラインベルガーが曲の途中から入れた感嘆詞「おお」の意味をじっくりと味わいたいです。

それにしても本当にきれいな曲ですね。作曲当時、ラインベルガーはわずか16歳だったそうです。

O, Bleib bei uns,

おお、(イエスよ、) わたしたちのそばにお留まりください(離れないでください)。

denn es will Abend werden,

もう夕暮れが迫ってきていますので。

und der Tag hat sich geneiget.

日もすっかり傾いてしまいました。

プーランクの作品より

プーランク (Francis Poulenc 1899-1963) は20世紀のフランスを代表する作曲家で、オペラなどの劇音楽や歌曲、器楽曲、さらに映画音楽と幅広い分野で活躍しましたが、宗教曲においても重要な作品をいくつも残しています。

もともと父が敬虔なカトリックという環境で育った彼でしたが、20代でパリの社交界に出入りするようになると、その享楽的な影響もあって、信仰が薄らいでいったようです。ところが37歳のとき、親友の作曲家であるフェルー (Pierre-Octave Ferroud) が交通事故で亡くなったのをきっかけに、プーランクはカトリックへの信仰を新たに、宗教曲もたくさん作曲するようになりました。

彼の音楽の特徴は、斬新なハーモニー（和声法）と、それに乗った流れるようなメロディーにあるといわれます。宗教曲でも、そんな個性がはっきりと示され、このジャンルの伝統的な、悪く言えば古臭いイメージを払拭した作風です。

「プーランクの中には修道士とならず者の両方がある」という有名な指摘（音楽評論家のクロード・ロスタン Claude Rostand）にもあるとおり、敬虔な雰囲気の中にも時折はつとめるような官能的な響きが垣間見られ、魅力であると同時に難しいところでもあるといえるでしょう。

アッシジの聖フランチェスコの4つの小さな祈り

Quatre petites prières de Saint François d'Assise

無伴奏男声合唱のための「4つの小さな祈り」（1948）は、プーランクの大甥（いとこの子）で、フランススコ会修道士のジェロームが手紙で送ってきた祈りの句に作曲したものです。再び信仰への道を歩んだプーランクは、不信心を戒め、信仰を呼び覚ます歌詞に共感を覚えたのではないのでしょうか。

1

Salut, Dame Sainte, reine très sainte, mère de Dieu,

ようこそ、聖母よ、至聖の女王、神の御母よ、

ô Marie qui êtes vierge perpétuellement,

永遠のおとめであるマリアよ、

élue par le très saint Père du Ciel,

天の至聖の御父により選ばれ、

consacrée par Lui avec son très saint Fils bien aimé et l'Esprit Paraclet,

御父、至聖にして最愛の御子そして聖霊により、聖別されたマリアよ、

vous en qui fut et demeure toute plénitude de grâce et tout bien!

あらゆる恵み、すべての善が、昔も今も、あなたの中にある。

Salut, palais; salut, tabernacle; salut, maison;

ようこそ、宮殿。ようこそ、聖櫃。ようこそ、館。

salut, vêtement; salut, servante; salut, mère de Dieu!

ようこそ、衣。ようこそ、下婢。ようこそ、神の母よ。

Et salut à vous toutes, saintes vertus

ようこそ、あなたがた、聖なる徳よ、

qui par la grâce et l'illumination du Saint Esprit,

聖霊のめぐみと天啓によって、

êtes versées dans les coeurs des fidèles

信心深い者たちに注がれている聖なる徳よ、

et, d'infidèles que nous sommes,

わたしたちは今、信心深くないので

nous rendez fidèles à Dieu!

信心深い者へと戻してください。

2

Tout puissant, très saint, très haut et souverain Dieu;

全能にして至聖、至高・最高の神よ、

souverain bien, bien universel, bien total;

最高の善、全世界の善、完全な善よ。

toi qui seul est bon;

唯一の善き方よ。

puissions-nous te rendre toute louange, toute gloire,

わたしたちはあなたに捧げましょう、すべての賛辞を、栄光を、

toute reconnaissance, tout honneur, toute bénédiction;

感謝を、栄誉を、祝福を。

puissions-nous te rapporter toujours à toi tous les biens.

Amen.

あらゆる善きことを常にあなたに返しましょう。アーメン。

ようこそ、まことの御体よ

Ave Verum Corpus

1952年に作曲された、簡素な無伴奏女声三部合唱曲です。子守唄を思わせるような優しいメロディーを、凜とした和声が支えます。

Ave verum corpus Christi

ようこそ、まことのキリストの御体よ、

Natum ex Maria Virgine

おとめマリアからお生まれになった(御体よ)、

Vere passum immolatum in cruce pro homine.

まことに苦しまれ、人類のために十字架で犠牲になられた(御体よ)。

Ave verum corpus Christi

ようこそ、まことのキリストの御体よ、

Natum ex Maria Virgine

おとめマリアからお生まれになった(御体よ)。

クリスマスのための4つのモテット

Quatre Motets Pour Le Temps de Noël

最初の作品と同じ1952年に書かれた無伴奏混声合唱曲です。イエス生誕にかかわる3つのエピソードが歌われます。最初のエピソードは神秘的に、次は牧歌的な曲調で、3曲目は瞑想的な雰囲気になります。そして最後に、皆でクリスマスを喜び祝う賛歌で締めくくられます。

1

O magnum mysterium

おお、(なんと) 大なる神秘、

et admirabile sacramentum

また、賛嘆すべき秘蹟(であろうか)、

ut animalia viderent Dominum natum
jacentem in praesepe.

生誕され、飼葉桶に横たわっている主を
獣どもが見ていたとは。

Beata virgo cujus viscera meruerunt
portare Dominum Christum.

祝福されたおとめ、この方の御胎は、
主キリストをもたらすに値するものであった。

2

Quem vidistis, pastores, dicite:

誰を見たの、羊飼いたち、言っておくれ、

annuntiate nobis in terris quis apparuit?

私たちに告げておくれ、この地上に誰が現れたの?

Natum vidimus, et choros Angelorum

幼児を見たよ、それに天使たちのコーラスが

collaudantes Dominum.

主を賞め讃えあっているのを(見たよ)。

Dicite quidnam vidistis,

言っておくれ、いったい何を見たのかを。

et annuntiate Christi Nativitatem.

そしてキリストの生誕を告げ知らせておくれ。

3

Videntes stellam

星を見て、

Magi gavisus sunt gaudio magno:

博士たちは大いに欣喜雀躍した。

et intrantes domum obtulerunt Domino

そして家に入って、主に捧げた、

aurum, thus et myrrham.

黄金、乳香そして没薬を。

4

Hodie Christus natus est:

今日キリストがお生まれになった。

hodie Salvator apparuit:

今日救い主が現れなされた。

hodie in terra canunt Angeli,

今日地上では天使たちは歌い、

laetantur Archangeli:

大天使たちは喜んでいる。

hodie exsultant justii dicentes:

今日義人たちは喜びに沸いて言う、

"Gloria (sit) in excelsis Deo, alleluia!"

「天においては神に栄光あれ、アレルヤ!」



指揮者 宍戸 真市

Shinichi SHISHIDO

福島県福島市出身。1999年、国立音楽大学音楽教育学科音楽教育専修を首席で卒業。岡本賞受賞。ピアノを内海咲子、小林美樹、岡田隆郎、声楽を伊藤勲、砂川稔、渡辺多津彦、指揮を今村能、小塚類の各氏に師事。

2006年、湯本高等学校に赴任。4年間、同校合唱部の指導にあたる。

2007年、福島県合唱連盟60周年記念青少年合唱団のバスパートリーダーを歴任。プラハ・ウィーン（アルテンブルク、シェーンブルン宮殿礼拝堂）・ザルツブルクの各コンサート、ミサでバスソロを担当した。

2010年、安積黎明高等学校に赴任。同校合唱団を指揮し、全日本合唱コンクール全国大会で5年連続金賞（2011年 文部科学大臣奨励賞）受賞、NHK全国学校音楽コンクールで金賞・内閣総理大臣賞・文部科学大臣奨励賞を1回受賞した。また、同校クラシック部（弦楽合奏）を指揮し、全国学校合奏コンクール全国大会で奨励賞を受賞している。さらに、安積合唱協会を指揮し、第65回全日本合唱コンクールで銅賞を受賞している。

現在、福島県合唱連盟事務局次長、福島楽友協会合唱団事務局長、安積合唱協会常任指揮者。



ピアニスト 橋本 絵美

Emi HASHIMOTO

福島県郡山市出身。国立音楽大学付属音楽高等学校、および同大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピティナヤングピアニストコンペティションD級銅賞、同デュオ部門特級全国決勝大会入選。大学卒業後、ドイツのドレスデンにて研鑽を積み、現在は福島県内で後進のピアノ指導にあたっている。

これまでにピアノを加藤智子、進藤桃子、山本万里子、デッドレフ・カイザーの各氏に師事。ソロ、合唱伴奏・アンサンブルにも積極的に参加。

橋本ピアノ教室 (<http://www.mio-piacere.com/>)、会津大学短期大学部非常勤講師。



ヴォイストレーナー 紅林 美枝

Mie KUREBAYASHI

山形大学大学院教科教育専攻音楽教育専修声楽分野修了。二期会オペラスタジオ 第45期マスタークラス修了。1995年山形ジュニア音楽コンクール金賞グランプリ受賞。1996年日本クラシック音楽コンクール奨励賞受賞。2001年ソレイユ音楽新人オーディション合格。2003年ウィーン秋期特別アカデミー修了。

「山形交響楽団ニューイヤーコンサート」「二期会新進声楽家の夕べ」「ベーゼンドルファーザール（ウィーン）コンサート」「楽都郡山ここに響くハーモニー事業“四季の風コンサート”」等に出演。またコールOMG（秋田県大館市）、安積黎明高等学校合唱団、安積合唱協会、福島楽友協会合唱団等、数々の団体の演奏会等にアルトソリストとして出演している。

声楽を渡部昭子、藤野祐一、藤野恵美子、野村陽子、オルガ・ワルラ・コロの各氏に、ピアノを長谷川牧子、小野崎通男の各氏に師事。

現在、郡山市内にて音楽教室を主宰。安積合唱協会ヴォイストレーナー、郡山女子大学附属高等学校音楽科非常勤講師、二期会会員。

解説・対訳 酒井 道宏

高校在学中、高麗正宣氏より音楽世界に導かれる。その後、音楽の理論面（音楽史、美学芸術学、表象文化論）を戸口幸策、皆川達夫、海老澤敏ほか諸氏に、実践面（声楽、解釈法、指揮法）を宮下正、前田幸市郎、大谷研二ほか諸氏に師事。さまざまな合唱団からの依頼を受けて歌詞対訳や解説を手がけるなど、合唱音楽の理論と実践を掘り下げて融合させることをライフワークとして活動中。

1992年、中世・ルネサンス、バロック時代の合唱曲を演奏することを目的に、同好の士を募り設立された一般の混声合唱団である。団員構成も、主に福島県にゆかりのある公務員・会社員・学生などと多岐にわたっている。設立以来、これまでに、多数の定期演奏会、特別公演等を開催。1993年にはウィーン、オーバーバルト、ザルツブルク、ミュンヘンにて公演、1999年にはフランス・マルセイユにおいてガブリエル・フォーレ合唱団と日仏親善ジョイント・コンサート、2004年にはオーストリア・フォラウ修道院にて演奏会を開催した。節目の記念定期演奏会では、2006年15周年にモーツァルト「レクイエム」、2013年20周年にフォーレ「レクイエム」を演奏し好評を博した。

2011年2月からは、穴戸真市氏を常任指揮者として、月1～2回程度の定期練習を基本とし、古楽の魅力である「優れた音律（チューニング）」と「各声部の完璧な調律（ブレンド）」を目指し活動している。全日本合唱コンクールをはじめとするコンクールや各種演奏会にも積極的に参加しており、2012年には、全日本合唱コンクール全国大会に出場し、銅賞を受賞した。また2013年より、震災からの復興を祈念し京都府長岡京市で開催されたHarmony for JAPANに参加し、福島から歌声を届けるとともに関西の合唱団との交流活動も積極的に行っている。



安積合唱
協会
役員

| | | | |
|--------|--------|---------------|--------|
| 理事長 | 曳地 利光 | ソプラノパートリーダー | 古山 香織 |
| 副理事長 | 浦部 真平 | アルトパートリーダー | 山本 清子 |
| 指揮 | 古山 香織 | テノールパートリーダー | 渡邊 佳文 |
| 総務担当理事 | 志賀 一郎 | バスパートリーダー | 浦部 真平 |
| 人事担当理事 | 船引 彩子 | ソプラノパートマネージャー | 持田 円 |
| 経理担当理事 | 斎藤 由紀夫 | アルトパートマネージャー | 樫村 貴久子 |
| 企画担当理事 | 鈴木 幸恵 | テノールパートマネージャー | 仁井 敏昭 |
| 監事 | 浦部 智子 | バスパートマネージャー | 桑原 一夫 |
| 事務局長 | 金成 聡司 | | |

安積合唱
協会
メンバー

| | | | | | | |
|------|------------------------|-------------------------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| ソプラノ | 古山 香織 持田 円 梅宮 優季 | 乙高 宣子 穴戸みゆき 佐藤 優子 | 浦部 智子 鈴木 志帆 | 加藤 順子 諸岡 唯 | 数馬 雅子 神保 明子 | 福岡 葵 浦部 晃子 |
| アルト | 山本 清子 神成 楓香 | 樫村貴久子 服部 美桜 | 矢野 夏子 森 希伊子 | 鈴木 幸恵 金山美和子 | 塚本 朋子 塩井和歌子 | 船引 彩子 |
| テノール | 渡邊 佳文 渡邊 勉 | 金成 聡司 古川 隼斗 | 曳地 利光 渡辺 慎弥 | 斎藤由紀夫 會田 喜樹 | 仁井 敏昭 | 酒井 道宏 |
| バス | 浦部 真平 乙高 広幸 | 六角 弘通 斎藤 隆 | 武藤 克則 影山 洋一 | 渡辺 均 佐々木 守 | 志賀 一郎 | 桑原 一夫 |

安積合唱協会のあゆみ

| | | |
|-----------------------------|-----|--|
| 1992(平成4)年 | 5月 | 設立総会 |
| 1993(平成5)年 | 3月 | 第1回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂) |
| | 12月 | 第2回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂) |
| | | 第1回 海外公演(ウィーン、ザルツブルク、ミュンヘン) |
| 1995(平成7)年 ～2000(平成12)年 | 3月 | 第3回～第8回定期演奏会(郡山市内) |
| 1999(平成11)年 | 1月 | 第2回 海外公演(マルセイユ、ラシオタ、アヴィニョン) |
| 1999(平成11)年 ～2000(平成12)年 | | 福島県合唱コンクール及び 全日本合唱コンクール東北支部大会出場(銀賞受賞) |
| 2000(平成12)年 | 3月 | 特別公演(会津若松市・会津アピオ内(株)共立土建コンサートホール) |
| 2001(平成13)年 | 3月 | 第9回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール) |
| | 9月 | 第55回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール) 金賞 |
| | | 第54回 全日本合唱コンクール東北支部大会(盛岡市民文化ホール大ホール) 金賞 |
| | 12月 | 第10回 定期演奏会(郡山カトリック教会) |
| 2002(平成14)年 | 9月 | 第56回 福島県合唱コンクール(矢吹町文化センター大ホール) 金賞 |
| | | 第55回 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール) 銀賞 |
| 2003(平成15)年 | 1月 | 第11回 定期演奏会(郡山カトリック教会) |
| | 8月 | 第57回 福島県合唱コンクール(いわき市平市民会館大ホール) 金賞 高野賞 |
| | 9月 | 第56回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール) 銅賞 |
| 2004(平成16)年 | 1月 | 第12回 定期演奏会(郡山カトリック教会) |
| | 8月 | 第58回 福島県合唱コンクール(原町市民文化会館大ホール) 金賞 |
| | 9月 | 第57回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール) 銀賞 |
| | 11月 | やまぐち県民文化祭アカペラフェスティバル招待演奏(秋吉台国際芸術村ホール) 海外公演記念演奏会(福島市音楽堂大ホール) |
| | 12月 | 第13回 定期演奏会(郡山カトリック教会) |
| | | 第3回 海外公演(アイゼンシュタット、フォラウ) |
| 2005(平成17)年 | 3月 | 法政大学アカデミー合唱団福島公演賛助出演(福島市音楽堂大ホール) |
| | 8月 | 第59回 福島県合唱コンクール(喜多方プラザせせらぎホール) 金賞 三浦賞 福島県教育長賞 |
| | 9月 | 第58回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール) 銀賞 |
| | 12月 | 第14回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール) |
| 2006(平成18)年 | 9月 | 第60回 福島県合唱コンクール(福島県文化センター大ホール) 金賞 |
| | 10月 | 第59回 全日本合唱コンクール東北支部大会(名取市文化会館大ホール) 銀賞 |
| | 12月 | 第15回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール) |
| 2007(平成19)年 | 9月 | 第61回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール) 金賞 |
| | | 平成19年度 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール) 金賞 |
| | 12月 | 第16回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール) |
| | | 第24回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール) 金賞 |
| 2008(平成20)年 | 3月 | 第1回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール) 銀賞 |
| | 6月 | 郡山市民合唱団定期演奏会賛助出演(郡山市民文化センター中ホール) |
| | 8月 | 第62回 福島県合唱コンクール(南相馬市文化会館大ホール) 金賞 |
| | 9月 | 第60回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール) 金賞 |
| | 12月 | 平FG合唱団定期演奏会賛助出演(いわき芸術文化交流館アリオス音楽小ホール) |
| | | 第25回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール) 金賞 |
| 2009(平成21)年 | 3月 | 第2回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール) 銀賞 |
| | 6月 | 第17回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール) |
| | 8月 | 第63回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール) 銀賞 |
| | 9月 | 第61回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール) 銀賞 |
| | 12月 | 第26回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール) 金賞 |
| 2010(平成22)年 | 6月 | 第18回 定期演奏会(郡山市民合唱団賛助出演)(郡山市民文化センター中ホール) |
| | 8月 | 第64回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール) 銀賞 |
| | 9月 | 第62回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール) 銀賞 |
| | 12月 | 第27回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール) 銀賞 |
| 2011(平成23)年 | 7月 | 第27回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール) 総合3位(ルネサンス・バロック部門金賞) |
| | 8月 | 第65回 福島県合唱コンクール(會津風雅堂大ホール) 金賞 |

| | | |
|-------------|-----|---|
| 2012(平成24)年 | 9月 | 第63回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール)金賞 |
| | 12月 | 第28回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞 |
| | 2月 | 第19回 定期演奏会(三春交流館「まほら」まほらホール) |
| | 3月 | 希望の歌声合唱フェスティバル2012(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール) 第5回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)優良賞 |
| | 7月 | 第28回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門銀賞、 ロマン派部門銅賞 |
| 2013(平成25)年 | 9月 | 第66回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール)金賞 第64回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール)金賞 |
| | 11月 | 第65回 全日本合唱コンクール全国大会(富山市芸術文化ホール オーバードホール)銅賞 |
| | 12月 | 第29回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞 |
| | 2月 | 第20回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール) |
| | 3月 | Harmony for JAPAN 2013(京都府長岡京市文化会館) 第6回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)優良賞 |
| 2014(平成26)年 | 7月 | 第29回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門銀賞 |
| | 9月 | 第67回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)銀賞 第65回 全日本合唱コンクール東北支部大会(宮城県仙台市イズミティ21)金賞 |
| | 11月 | 第3回 ハーモニーコンサート(郡山市民文化センター大ホール) |
| | 12月 | 第30回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銅賞 |
| | 3月 | Harmony for JAPAN 2014(京都府長岡京市文化会館) 第21回 定期演奏会 振替公演(郡山市中央図書館 視聴覚ホール) |
| 2015(平成27)年 | 7月 | 第30回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門銀賞 |
| | 8月 | 第68回 福島県合唱コンクール(會津風雅堂)金賞 |
| | 9月 | 第66回 全日本合唱コンクール 東北支部大会(リンクステーション青森)金賞 |
| | 12月 | 第31回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞 全国推薦 第5回 郡山音楽フェスティバル(郡山市民文化センター大ホール) |
| | 1月 | 安積合唱協会・京都パッハ合唱団ジョイントコンサート 第22回 定期演奏会(郡山市民文化センター大ホール) |
| | 3月 | 第8回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)銀賞 |
| | 7月 | 第31回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門出場 |
| | 8月 | 第69回 福島県合唱コンクール(福島県文化センター)金賞 |
| | 9月 | 第67回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館)銀賞 |
| | 11月 | 第6回 郡山音楽フェスティバル(郡山市民文化センター中ホール) |
| | 12月 | 第32回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞 全国推薦 |

賛助会員 個人

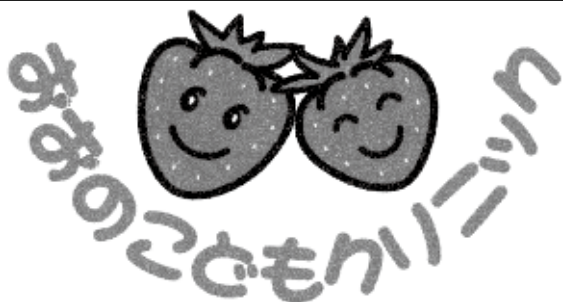
(50音順・敬称略)

| | | | |
|-------|----|-------|----|
| 金山 英一 | 1口 | 直井 千歩 | 1口 |
| 金山 暖子 | 1口 | 曳地 利男 | 4口 |
| 金成 文恵 | 4口 | 武藤 孝幸 | 1口 |
| 佐藤 禮子 | 1口 | 武藤 春美 | 1口 |
| 佐藤 寿子 | 4口 | 山本 和宏 | 1口 |
| 鈴木 哲史 | 2口 | 渡辺 正恵 | 2口 |
| 鈴木 哲弥 | 1口 | | |

賛助会員 団体

(敬称略)

| | |
|----------------|-----|
| 中国家 | 1口 |
| フォルクスワーゲン福島南 | 2口 |
| ホンダカーズ福島 郡山川向店 | 1口 |
| 株式会社コーケン | 20口 |



院長 大野 広衛

〒963-8844 福島県郡山市字賀庄 54-1
 TEL 024-937-3775 FAX 024-937-3776
 e-mail koei@safins.ne.jp

～心ふれあう地域医療をめざして～



医療法人社団 恵周会
白河病院

理事長・病院長 本田恒雄

救急病院

白河市六反山 10-1 ☎0248-23-2700

- | | |
|-----------|-----------|
| 【外来診療科目】 | ● 内 科 |
| ● 循環器内科 | ● 整形外科 |
| ● 脳神経外科 | ● 消化器科 |
| ● 心臓血管外科 | ● 人工透析 |
| ● 麻 酔 科 | ● 人間・脳ドック |
| ● 腎 臓 内 科 | ● 各種 検 診 |

71年目、まっさらな気持ちで。



ハーモニーのあるデザインを皆様へ

Shinwa Creative Center

ふれあいの心をそだてる

株式会社 進和クリエイティブセンター

企画プランニング、デザイン、コピーライティング、編集、取材執筆、撮影、イラストレーション、外国語翻訳、テープ起こしリライ、各種広告物、POP、出版・刊行物の企画・編集・制作、各種映像ソフトの企画・制作、CI計画



株式会社 **日進堂印刷所** 日進堂グループ
 (株)進和クリエイティブセンター (株)エス・シー・シー

〒960-2194 福島市庄野字柿場1-1 TEL (024) 594-2145 FAX (024) 594-2147

[URL http://www.nisshindo.co.jp/cc/](http://www.nisshindo.co.jp/cc/)

■ 事業内容

| 設 備 | 清 掃 | 建 築 | 警 備 |
|--------------------------------|--|--|---|
| ◎電気・空調・給排水・消防 ◎情報通信・搬送・工事診断 | ◎日常メンテナンス ◎定期メンテナンス ◎特別メンテナンス | ◎新築工事 ◎リフォーム&リニューアル ◎建物調査診断 ◎建築資機材の販売 ◎不動産事業 | ◎施設警備 ◎交通誘導雑踏警備 ◎機械警備・巡回警備 ◎保安警備 |
| サービ | マンション管理 | ホテル・旅館 | 駐車場 |
| ◎インフォメーション ◎スポーツ施設管理 | ◎基幹事務管理 ◎管理員業務 ◎維持管理業務 | ◎客室整備・パブリック ◎フロント業務 | ◎駐車場管理 ◎駐車場運営 |
| 環境衛生 | 資産運営管理 | 太平遠隔管理システム | その他 |
| ◎ビル衛生管理 ◎病院衛生管理 ◎廃棄物処理 | ◎プロパティマネジメント ◎ビルマネジメント ◎ビルコンサルティング サービス | ◎TaRMS | ◎人材派遣 ◎医療補助業務 ◎造園及び植栽 |



より美しく清潔に



全国 どこでも 太平ビルサービスへ
 いつでもお気軽にお電話ください。

▶ 全国営業網

太平ビルサービス株式会社
郡 山 支 店

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町21-10 EME郡山ビル2F

電話番号 024-933-0728 FAX番号 024-933-5754

ホームページ <http://www.taihei-bs.co.jp/>

日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院指定



一般財団法人慈山会医学研究所付属

坪井病院

理事長 坪井 永保 院長 岩波 洋

TEL.024-946-0808



福島県郡山市安積町長久保一丁目10番地13 <http://www.tsuboi-hp.or.jp>

診療科目

内科 外科 消化器内科 消化器外科 大腸・肛門外科 呼吸器内科 呼吸器外科
乳腺外科 婦人科 放射線科 麻酔科 病理診断科 緩和ケア内科

人間ドック 各種検診 ホスピス 在宅ホスピス がん相談 禁煙指導

訪問看護ステーション ケアステーションあすなろ 福島県郡山市駅前一丁目12番3号 TEL.024-923-5121



JA 福島厚生連

白河厚生総合病院

〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2-1
TEL (0248) 22-2211 FAX (0248) 22-2218
URL <http://www.shirakawa-kosei.jp>

【受付時間】8:00~11:30

【休診日】日曜日、祝日、第1・3土曜日、8月16日、12月30日~1月3日

~ PET-CT がん検診を実施しております ~

- しらかわ訪問看護ステーション
- 居宅介護支援事業所
- 農村検診センター
- 付属高等看護学院
- PET 画像診断センター

JA 福島厚生連 塙厚生病院

院長 佐川 恵一

〒963-5493 福島県東白川郡塙町大字塙字大町1丁目5 TEL (0247)43-1145 FAX (0247)43-3394
<https://www.hanawa-fkousei.jp/>


| | | |
|----------------|-------------------|-------------------|
| はなわ訪問看護ステーション | TEL (0247)43-0073 | FAX (0247)43-0073 |
| 塙厚生病院居宅介護支援事業所 | TEL (0247)43-1105 | FAX (0247)43-1394 |
| 介護老人保健施設「久慈の郷」 | TEL (0247)43-1101 | FAX (0247)43-2520 |

声楽・ピアノ・ソルフェージュ

ピアチェーレ音楽教室

郡山市富久山町久保田字大原 124-11
 (行健中そば)
 紅林 美枝
 TEL 024-923-9522

防犯カメラ、ネットワークカメラ
 販売、施工、メンテナンス



株式会社 ACT
 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎
 東松原 3-7-104

Clear

hair make
 美容室 クリア

小野寺 広美
 〒963-8852 福島県郡山市合新1丁目5-8
 TEL・FAX 024-935-3151

azbil

人を中心としたオートメーション

建物から社会へ、地球環境へ

アズビル株式会社

ビルシステムカンパニー 福島営業所 024-935-7860

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町 2-11 郡山虎丸町第一生命ビル
<http://www.azbil.com/jp/>
 (株)山武から社名を変更いたしました。

福島の今を届け
 そして未来へ——



福島民報社
 本社/福島市太田町13-17 ☎(024)531-4111代
 URL <http://www.minpo.jp/>

Hiroshi Kazuma
 Internal Medicine and Cardiology Clinic

かずま医院

内科/循環器科/呼吸器科/外科

医学博士 数馬 博
 〒963-8862 郡山市菜根一丁目15-2 Tel.024-934-7750

〔診療時間〕

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|------------|---|---|----------|---|---|
| 午前 | 9:00~12:00 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 午後 | 3:00~7:00 | ● | ● | 午後 休診 | ● | ● |

休診日/日曜・祝祭日、水曜午後

ASAKA Chorverein

<http://www.asakachorverein.com>

<https://www.facebook.com/AsakaChorverein/>

<https://twitter.com/AsakaChorverein/>